



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位
大垣市政・経済記者クラブ 同時配布資料

令和4年9月30日(金) 岐阜県発表資料			
所属	担当係	担当者	電話番号
岐阜関ヶ原古戦場記念館 企画課	学芸係	成瀬・山形	直通 0584-47-6070
	企画連携係	小竹・若山	FAX 0584-43-0420

企画展「島津家の関ヶ原」を開催

岐阜関ヶ原古戦場記念館（以下「記念館」という。）では、関ヶ原合戦におけるハイライトの一つ「島津の退き口」で有名な島津家について紹介する企画展「島津家の関ヶ原」を開催します。

本企画展は、鹿児島県と岐阜県が姉妹県盟約締結50周年を迎えたことを記念して開催するもので、鹿児島県内の関係館の多大なご協力のもとに実現し、普段ほとんど鹿児島県内から出ることがない貴重な資料を数多く展示します。

なお、期間中はギャラリートーク、薩摩琵琶独演会、講演会、史跡ハイキングなど関連企画が目白押しです。

記

- 1 期間** 令和4年10月15日(土)～12月4日(日) ※記念館の休館日は除く
(開館時間) 9:30～17:00 (入館は16:30まで)
※10月15日(土)、16日(日)は20時30分まで(入館は20時まで)
夜間開館します。
- 2 会場** 記念館 2階展示室2・3ほか(関ヶ原町関ヶ原894-55)
※入館は事前予約優先制。ホームページ等にて事前予約をお願いします。
※入館には、入館料が必要です。
- 3 入館料** 一般800(700)円、大学生・高校生600(540)円、中学生以下無料
※企画展開催に伴う特別料金となります。
※()内は20名以上の団体料金です。

4 内容

(1) 企画展「島津家の関ヶ原」

展示期間 10月15日(土)～12月4日(日)
〔前期展示 10月15日(土)～11月13日(日)〕
〔後期展示 11月15日(火)～12月4日(日)〕

会場 記念館 2階展示室2・3

主な展示物

- ・島津豊久画像(真田宝物館所蔵)
- ・刀銘 朝鮮兼光(個人蔵 鹿児島県歴史・美術センター黎明館寄託)【後期展示】
- ・虎狩絵巻(鹿児島県歴史・美術センター黎明館所蔵)【後期展示】
- ・倭文麻環(鹿児島大学附属図書館所蔵) など合計約30点

(2) パネル展示「島津義弘と島津の退き口」

期間 10月15日(土)～12月4日(日)

会場 記念館 2階戦国体験コーナー

内容 島津義弘の生涯や居城の変遷などをパネルで紹介します。

(3) マンガ「ドリフターズ」原画展

期 間 10月15日(土)～12月4日(日)
会 場 記念館 2階戦国体験コーナー
内 容 関ヶ原から異世界に飛ばされた主人公・島津豊久が活躍する「ドリフターズ」
(平野耕太作、月刊ヤングキングアワーズ連載中)の原画展を開催します。

5 関連企画

(1) 学芸員によるナイトギャラリートーク

日 時 10月15日(土) 第1部 17:00～、第2部 19:00～
会 場 記念館 2階展示室など
定 員 各回30名
参 加 費 無料(別途、入館料が必要です)
内 容 夜間開館に合わせ、当館学芸員による展示品の解説ツアーを開催します。
申込方法 10月上旬(予定)に、記念館公式HPにてご案内します。

(2) 島津義秀氏 薩摩琵琶独演会

日 時 10月15日(土) 18:00～19:00(当日は夜間開館しております)
会 場 記念館 前庭(雨天時は関ヶ原ふれあいセンター大ホールにて開催予定です)
参 加 費 無料
内 容 島津義弘の子孫で加治木島津家十三代当主である島津義秀氏を迎え、薩摩琵琶の生演奏、島津氏に関するトークをお楽しみいただきます。
また、17時30分からは古戦場おもてなし武将隊関ヶ原組による演武も予定しています。

(3) 新名一仁氏 特別講演会「島津義弘」

演 題 島津義弘
講 師 新名 一仁(南九州大学非常勤講師)
日 時 10月29日(土) 14:00～15:30(開場13:30)
会 場 関ヶ原ふれあいセンター 大ホール(不破郡関ヶ原町大字関ヶ原894-29)
定 員 250名(先着順)
参 加 費 無料
申込方法 10月上旬(予定)に記念館公式HPにてご案内します。

(4) 中世島津氏研究者と行く「史跡ハイキング」

解 説 者 新名 一仁(南九州大学非常勤講師)、岩川拓夫(島津家別邸仙巖園学芸員)
日 時 10月30日(日)(雨天決行)
① 午前の部(関ヶ原コース) 9:00～13:00
② 午後の部(上石津コース) 12:00～16:00
定 員 各回35名
参 加 費 無料
申込方法 10月上旬(予定)に記念館公式HPにてご案内します。
内 容 中世島津氏に関する論考がある新名一仁氏、岩川拓夫氏を解説者に迎え、解説者と共に関ヶ原を中心とした島津家ゆかりの地を巡ります。
① 午前の部 島津義弘陣跡、薩摩池、石田三成陣地、徳川家康最後陣地、
烏頭坂、記念館など
② 午後の部 記念館、烏頭坂、琳光寺(長寿院盛淳の墓)、瑠璃光寺(島津豊久の墓)、白拍子谷(島津豊久終焉の地)など
※徒歩が中心となりますので、歩きやすい服装でご参加ください。
各回とも記念館集合、解散の予定です。なお、一部バス移動も含まれます。

(5) 島津義弘・豊久 ゆかりの地ラリー ～関ヶ原から大垣をめぐる～

開催期間 10月15日(土)～11月27日(日)

内 容 関ヶ原から大垣までの島津義弘・豊久にまつわる陣跡やゆかりの地をめぐり、キーワードを集めるラリー。

※キーワードがそろったら素敵なプレゼントがもらえます。

主 催 関ヶ原観光協会

協 力 記念館・大垣市・大垣観光協会・関ヶ原町

(※詳細は「関ヶ原観光ガイド」の特設Webページを参照ください。)

○「関ヶ原観光ガイド」特設Webページ

<https://www.sekigahara1600.com/event/20220912141957.html>



(こちらのQRからも特設サイトをご覧ください)

薩摩琵琶弾奏家 島津 義秀 (しまづ・よしひで)

加治木島津家第十三代当主。戦国武将・島津義弘直系十五代末裔。1964年大阪府泉佐野市生まれ。母方の姓を継ぎ、大学卒業後、母の郷里鹿児島へ移住。学生時代より、薩摩琵琶、薩摩に伝わる幻の笛「天吹」及び一撃必殺剣と恐れられた「野太刀自顕流」(通称：薬丸流)を習得。現在、鹿児島県始良市加治木町で戦国武将・島津義弘公を祀る精矛神社宮司職の傍ら青少年育成現場「青雲舎」を平成12年に復興。薩摩琵琶、天吹、野太刀自顕流の研鑽普及に励む。鹿児島県ユニセフ協会初代会長、鹿児島国際大学及び県立短期大学非常勤講師。



講師・解説者 新名 一仁 (にいな・かずひと) 南九州大学非常勤講師

1971年宮崎県生まれ。鹿児島大学法文学部人文学科卒業。広島大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得退学。博士(文学、東北大学)。専門は、中世後期九州南部の政治史。主要著書に、『室町期島津氏領国の政治構造』、『島津四兄弟の九州統一戦』、『「不屈の両殿」島津義久・義弘』などがある。



解説者 岩川 拓夫 (いわかわ・たくお) 島津家別邸仙巖園学芸員

1985年鹿児島県生まれ。大阪大学大学院修了後、島津家の博物館・尚古集成館や戦国島津ゆかりの日置市教育委員会で学芸員を務める。2016年から島津家別邸仙巖園で学芸員。鹿児島国際大学および鹿児島大学の非常勤講師を兼ねる。2019年から現在まで戦国島津を紹介した「かごしま戦国絵巻」を連載中。

